

このページでは「いっしょに！OSAKINI プロジェクト」と題して 2021 年 4 月に設立された大崎町 SDGs 推進協議会（参画団体：大崎町、鹿児島相互信用金庫、株式会社そらのまち、株式会社南日本放送、有限会社そおりサイクルセンター、合作株式会社）の活動をご紹介します。

いっしょに

OSAKINI
PROJECT

VOL. 59

初夏の風が心地よい季節ですね。大崎町の生ごみと草木からできた堆肥「おかえり環ちゃん」を使って作られた、ななくさ農園さんの有機ねぎを最近いただきました。鳥もも肉と焼いて食べるだけでとろとろ！とても美味しくて、1歳の息子もパクパク食べています。循環するシステムの恩恵を感じつつ、四季の美味しい食材をこれからも楽しみたいと思う今日のこの頃です。



井上 雄大

(いのうえ ゆうだい)

事務局
専務理事

2025 年度も国内外から 635 名が視察！ 分別から広がる『資源循環の輪』



私たちが毎日当たり前に行っている「ごみの分別」。

この取り組みに学ぶため、2025 年度も国内外から 65 件、計 635 名が視察に訪れました。

見学に来るのは自治体の方だけではありません。地域学習で訪れる小中高生、最先端のリサイクル技術を研究する大学院生や企業の担当者など、多様な方が足を運んでいます。

大崎町で学んだ仕組みを持ち帰り、「自分のまちのごみ処理や暮らしをもっと良くしたい」と考える方がたくさんいらっしゃいます。

また、大崎町の取り組みを知った方々が「モノをつくる段階から捨てた後のことまで考えよう」「そもそもごみが出ない形にしよう」と、モノづくりのあり方を見直すきっかけにもなっています。皆さまの分別が起点となり、国内外へ循環の取り組みが広がっています！

今年度は視察に加えて、より深く学ぶ研修を多く受け入れるよう準備を進めていますので、ぜひご注目ください。日々の視察受け入れは Instagram で発信しています！

大崎リサイクルシステムの視察研修

当協議会では、国内外の方に向けて「大崎リサイクルシステム」を学ぶ視察研修を実施しています。普段は見えにくい「ごみを捨てたその先」がどうなっているのか、施設を巡りながら、資源が循環する仕組みをご案内しています。

さらに今年度は、町民の皆さまにもこの仕組みを体感いただけるよう、施設見学ツアーを企画中です！皆さまが分別したごみの「その先」を見に行く機会となりますので、詳細の発表をぜひ楽しみに。



公式 Instagram アカウント
OSAKINI project ▶▶

「OSAKINI プロジェクト」に関わる様々な情報や楽しいイベントをお知らせします！ぜひご登録ください。



お問い合わせ先

一般社団法人大崎町 SDGs 推進協議会

☎ 099-478-1487